



平成 21 年 7 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社 小糸製作所
 代 表 者 名 取締役社長 大嶽昌宏
 (コード番号 7 2 7 6 東証第 1 部)
 問 合 せ 先 取締役総務部長 井上 敦
 (TEL 0 3 - 3 4 4 3 - 7 1 1 1)

特別損失の計上、工場の生産再開、及び業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 4 月 24 日に公表いたしました平成 22 年 3 月期の業績予想を、下記の通り修正いたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成 22 年 3 月期 第 2 四半期累計期間 予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

－ 1. 連結業績

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 155,100	百万円 △ 3,000	百万円 △ 2,600	百万円 △ 2,100	円 銭 △ 13.07
今回修正予想(B)	167,700	3,400	4,500	△ 2,100	△ 13.07
増減額(B-A)	12,600	6,400	7,100	—	—
増減率(%)	8.1	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	220,976	10,321	12,049	5,778	35.96

－ 2. 単独業績

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 83,300	百万円 △ 1,800	百万円 600	百万円 200	円 銭 1.24
今回修正予想(B)	89,800	1,200	3,900	2,300	14.31
増減額(B-A)	6,500	3,000	3,300	2,100	—
増減率(%)	7.8	—	550.0	1050.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	123,417	6,618	10,929	6,558	40.81

(2) 平成 22 年 3 月期 通期 予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

－ 1. 連結業績

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 346,000	百万円 4,100	百万円 4,700	百万円 1,000	円 銭 6.22
今回修正予想(B)	358,600	10,500	11,800	1,000	6.22
増減額(B-A)	12,600	6,400	7,100	—	—
増減率(%)	3.6	156.1	151.1	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	400,232	9,131	9,275	4,042	25.16

－ 2. 単独業績

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 183,000	百万円 800	百万円 4,900	百万円 2,700	円 銭 16.80
今回修正予想(B)	189,500	3,800	8,200	4,800	29.87
増減額(B－A)	6,500	3,000	3,300	2,100	—
増減率(%)	3.6	375.0	67.3	77.8	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	214,471	6,421	13,166	5,600	34.85

2. 特別損失の計上、及び業績修正の理由

平成21年6月1日付で General Motors Corporation(以下、「GM社」)が米国連邦破産法第11章の適用を申請したことを受け、当社の連結子会社であるコイトエンタープライズ株式会社が保有する債券に関して特別損失が発生いたしました。

一方、世界各地域における自動車関連の減税効果、環境対応車の増産等により自動車生産の減産幅が縮小しており、当社収益が改善する見込みであります。

これらにより、平成22年3月期 第2四半期連結累計期間、及び通期の業績予想の修正を行います。

(1) 特別損失の内容

保有する債券は、GM社等を参照組織とするクレジット・リンク債50億円であり、GM社の破産法適用申請に伴いデフォルト決定され、弁済額6億円を差し引いた43億円が特別損失計上となりました。

①ファースト・トゥ・デフォルト型クレジット・リンク債

発行体：Mitsubishi UFJ Securities International plc

保有額面：30億円

参照組織：GM社 他2社

②ファースト・トゥ・デフォルト型クレジット・リンク債

発行体：Signum Limited (SPC)

保有額面：20億円

参照組織：GM社 他2社

3. 工場の生産再開について

当社は、受注量の大幅減少に対応し固定費削減のため、国内生産工場の一部において一時閉鎖を実施していましたが、昨今の九州地区における自動車生産の増加動向を考慮し、小糸九州第2工場の生産を平成21年8月より再開いたします。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上